

在外公館で旅券及び証明を申請する際の戸籍謄（抄）本の提出について

令和7年3月13日

- 1 令和7年3月24日（月）午前4時（予定、日本時間3月24日（月）午前6時）から外務省と法務省間で戸籍情報のシステム連携が開始されます。
- 2 これにより、旅券（パスポート）の申請及び戸籍謄本の提出を必要とする証明の申請（例：パスポートの新規申請、戸籍記載事項証明の申請など）において、申請者が「戸籍電子証明書提供用識別符号」（以下「符号」）を在外公館窓口に提示することにより、在外公館側で戸籍電子証明書（電子的に戸籍情報を証明したもの）を確認することが可能となるため、紙の戸籍謄（抄）本の提出が不要になります。

※「符号」は、行政機関が戸籍電子証明書の内容を確認するためのパスワード（16桁の数字、有効期間3か月）です。マイナポータル上（無料）又は市町村窓口（有料）で取得できます。市町村窓口における「符号」の取得に関する詳細は、市町村のHP等でご確認ください。

※マイナポータル上での「符号」の取得方法は、3月24日に、以下のサイトに公開される予定です。

<https://img.myna.go.jp/manual/03-10/0236.html>

- 3 「オンライン在留届（ORRネット）」から旅券及び証明のオンライン申請をする場合は、あらかじめ取得した符号を申請画面で入力することにより、戸籍電子証明書をオンラインで提出できます。また、窓口申請においても、「符号」の提示が可能です。

（参考）

●旅券のオンライン申請

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/page22_004039.html

●証明のオンライン申請

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/page23_004157.html

〈お問い合わせ先〉

電話番号：031-503-0008（総領事館代表）

メールアドレス：ryoji@sb.mofa.go.jp